



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)  
           益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244(教会)  
           (714) 527-1456(牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
                   Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「祈りの意味」②

さらに私たちの祈りは神のみ手を動かし、天をも衝き動かす。出エジプト記十七章で、モーセが手を上げて祈った時にイスラエルが勝ち、手を下げると敵のアマレクが勝ったという記事がある。祈りが神のみ手を動かし、手を下げるのである。私たちが祈ると同時に、神がその力強いみ手を動かして下さり、それはやがて神のみ業となって現れ、祈りを通して勝利に導くのである。モーセが疲れて手を上げ続けることが出来ない時にも、同行のアロンとホルが彼の祈りの手を支えることにより、イスラエルは勝ち続けたのであった。祈りは天と直結しているという霊の祝福を見せてくれたのである。祈りこそ霊の世界と現実を結ぶ唯一のパイプである。そして、その祈りによって現在もどのような神の祝福が私たちの上に注がれているのかというと、「わたしたちに賜っている聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれている」(ローマ五・5)とあるように、それは今も滔々と私たちの心に注がれているのである。ヨハネに言わせると、「その腹から生ける水が川となって流れ出る」(十五・38)とあるが、それは単なる小川ではなく、川々となって流れるという意味である。その豊かな愛の流れを確認させていただくのが祈りであり、信じる者の聖なる務めである。

その神の愛によってどのような働きがなされるのかというと、「生きるにも死ぬにも、わたしの身によってキリストがあがめられることである」(ピリピ一・20)とあるように、神の栄光が現れるのである。病む時も、涙する時も、傷む時も、豊かな神の愛が注がれることによって、どんな状態にあっても神が栄光を表して下さるというのである。それは神の約束である。だから祈るのであり、それが祈りの原点である。だから友よ、心を合わせて祈ろうではないか。

一九九五年に召されたフィゲロア・ルーベン兄のことを思いだす。彼は召される十日ほど前から眠れずにいた。怖い夢を見るからだだった。そこで僕は奥様の清子姉の依頼を受け、数人の教会員と一緒に出かけられたのだ。そこで彼に洗礼を授けたのだが、それから彼は悪夢を見ることがなくなりました。その代わりに彼は天国の主イエスの夢を見たのであろう、喜びのあまり彼の顔が笑顔に変わった。子供たちは、「お父さんの顔がいつも微笑んでいるから口の周りに皺まで出来ているよ」と言った。清子姉はご主人の死の前に「私はとても嬉しい」と叫んだほどであった。死を通して彼は天国の希望を見せてくれたのであった。それが神は栄光でなくて一体なんであろう。死が命に包まれた瞬間であった。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョン・ウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

